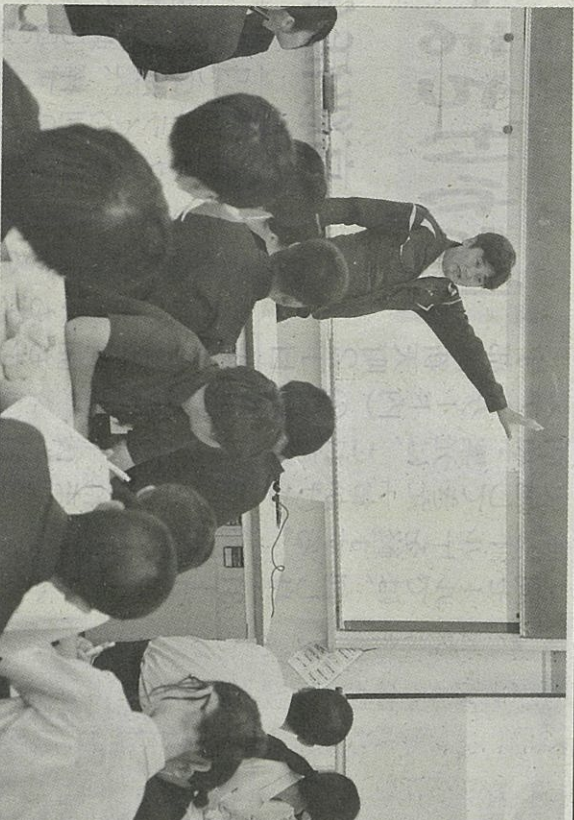


地元の仕事の魅力知って

桃山中 3社の講師からやりがい学ぶ

桃山中（糸本康浩校長）で18日、「プロに学ぶ会」宇部市で挑戦する先輩たちから学ぶ」が開かれた。2年生10人が参加し、市内に主な事業所や本社がある3社の3人から仕事のやりがい、心構えなどを学び、市内で働くことの魅力に触れた。



生徒たちに語り掛ける前田社長（桃山中で）

同校が県の指定を受け

た「あこがれの連鎖で紡

ぐキャリア教育推進事

業」の一環。講師を務め

たのは、総合化学メーカ

1JBJ製造技術部の高

松秀明さん、食品加工機

械を製造、販売するナナ

ラ「このまちには暮らし

を豊かにするためにやる

べき仕事」ビジネスチ

アがふれている」と

呼び掛けた。

同校の野球とサッカー

の地域クラブ代表を務め

る前田社長は、生徒たち

が自分を成長させて新た

なステージに進むために

スべきこととして、面倒

なことを一つ見つけて習

い、新たな産業の創出に

よって人、物、文化が集

う魅力的なまちに発展さ

せる構想を説明した。

石井さんは「宇部から

世界へ！身近な『食』を

は何もない小きなまちだ

ことなどを挙げた。

中野由望さんは「市内

支える仕事」と題して、

同社の機械で作られたカ

ニカが世界シェアの7

割を占めていること、大

手コペニのおにぎりや

弁当が同社の機械で作ら

れていることを披露。

と思っていたが、3人の話を聞いて、いろいろな可能性があると気付いた」と話した。（筈井）